

RS-422 タイミング調整器

**TAJ-70-422**

**取扱説明書**

**必ずお読みください！**

**ビデオトロン株式会社**

## この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等からませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

### 2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音が出た場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐご連絡ください。

### 3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

### 4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

- 下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。
- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
  - ・電源が入っている時に行くと危険です。
  - ・規格の異なる部品の交換は危険です。

## 5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
  - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
  - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
  - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
  - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
  - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



## 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

### 2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

### 3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
- マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
  - ・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
  - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
  - ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

**定期的なお手入れをおすすめします。**

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。  
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。  
期間 費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

\*\*上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

連絡先……………ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2 - 17 - 16

TEL 042 - 666 - 6329

FAX 042 - 666 - 6330

受付時間 8:30 ~ 17:00

E-Mail [cs@videotron.co.jp](mailto:cs@videotron.co.jp)

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042 - 666 - 6311

緊急時 \*\* 090 - 3230 - 3507

受付時間 9:00 ~ 17:00

\*\*携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

..... 目 次 .....

この製品を安全にご使用いただくために .....	1
<b>1. 概 説</b> .....	<b>1</b>
(特 長) .....	1
<b>2. 機能チェック</b> .....	<b>2</b>
1. 構成 .....	2
2. 筐体への取り付け .....	2
3. POWER ONまでの手順 .....	2
4. 機能チェック接続 .....	3
5. 機 能 .....	4
6. パソコンのネットワーク設定 .....	5
<b>3. 各部の名称と働き</b> .....	<b>9</b>
1. メインモジュール正面 / コネクターモジュール .....	9
2. 操作パネル(オプション) .....	10
<b>4. 基本操作</b> .....	<b>11</b>
1. 遅延時間の設定 .....	11
2. プリセットの切り替え .....	11
3. 複数機器連動制御 .....	11
<b>5. ブラウザー操作</b> .....	<b>13</b>
1. 各種設定メニューの起動 .....	13
2. 遅延時間プリセット .....	14
3. ネットワーク設定 .....	15
4. 内部時計設定 .....	16
5. バージョン情報 .....	17
<b>6. 工場出荷設定 (ディップスイッチの操作)</b> .....	<b>18</b>
<b>7. 外部インターフェース</b> .....	<b>19</b>
1. REMOTE .....	19
2. RS-422 IN .....	20
3. RS-422 OUT .....	20
4. 10/100BASE .....	20
<b>8. SNMP</b> .....	<b>21</b>
<b>9. トラブルシューティング</b> .....	<b>22</b>
<b>10. 仕 様</b> .....	<b>23</b>
1. 定 格 .....	23
<b>11. ブロック図</b> .....	<b>24</b>
<b>12. 操作パネル外形寸法図(オプション)</b> .....	<b>24</b>

## 1. 概説

TAJ-70-422は、RS-422 VTR制御 1におけるスタートコマンドのタイミングを調整するモジュールです。RS-422コントローラーと制御デバイス間にTAJ-70-422を介在することにより、スタートコマンドのみフレーム単位で最大60フレームまで遅延させることができます。遅延量は予め4パターンまでプリセットすることができ、接点、リモコン、ネットワークでプリセットパターンを切り替えることができます。

1 SONY 9pinプロトコルに対応。

### (特長)

RS-422 のスタートコマンドのみ、0～60 フレームの範囲で遅延させることができます。

スタートコマンド以外はスルーします。 2

遅延量は4パターンまでプリセットできます。 3

遅延量のプリセットパターンは、接点で切り替わります。

オプションの PRC-0401、または RS-70-01 を使用してリモートの手動切り替えができます。

オプションの VDA-70P を使用すると、SW-70-422、SW-70-GPI、RS-70HD/SD と切り替え制御を連動させることができます。

現在の選択プリセットを正面表示器で確認できます。

実装する筐体の LAN ポートを使用して SNMP による切り替え制御が可能。 4

2スタートコマンド以外のコマンドも内容を解析する為に、約1mSの伝達遅延が発生します。

3 遅延量のプリセットはPCとLANケーブルで接続してブラウザで設定します

4 SNMPを使用する場合は、使用するVbus筐体がSNMPに対応している必要があります。詳しくは弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

## 2. 機能チェック

### 1. 構成

【本体】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	TAJ-70-422 モジュール	TAJ-70-422	1 枚	
2	コネクタモジュール	TAJ-70-422	1 枚	
3	取扱説明書		1 部	本書

【接点リモコン】 オプション

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	接点リモコン	PRC-0401	1 台	
2	電源ケーブル	ケーブル長 2m	1 本	
3	専用パラレルケーブル	ケーブル長 10m	1 本	
4	ヒューズ	1A	3 個	

【操作パネル】 オプション

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	操作パネル	RS-70-01	1 台	
2	電源ケーブル	ケーブル長 2m	1 本	
3	コントロールケーブル	3C-2V 10m	1 本	
4	ヒューズ	2A	3 個	

表2-1 構成

### 2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、メインモジュール及びコネクタモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbus-70Bシリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」を参照してください。

### 3. POWER ON までの手順

- (1) Vbus 筐体の電源プラグを AC100V のコンセントに挿入します。
- (2) REF 入力に BBS を接続します。
- (3) RS-422-IN と VTR コントローラ (CONT 側) の RS-422I/F を RS-422 ストレートケーブルで接続します。
- (4) RS-422-OUT と VTR 等 (DEVICE 側) の RS-422I/F を RS-422 ストレートケーブルで接続します。
- (5) 10/100BASE 端子と PC を LAN ケーブルで接続します。
- (6) 本体の電源スイッチを投入します。電源スイッチを投入するとパワーランプが点灯します。

#### 4. 機能チェック接続

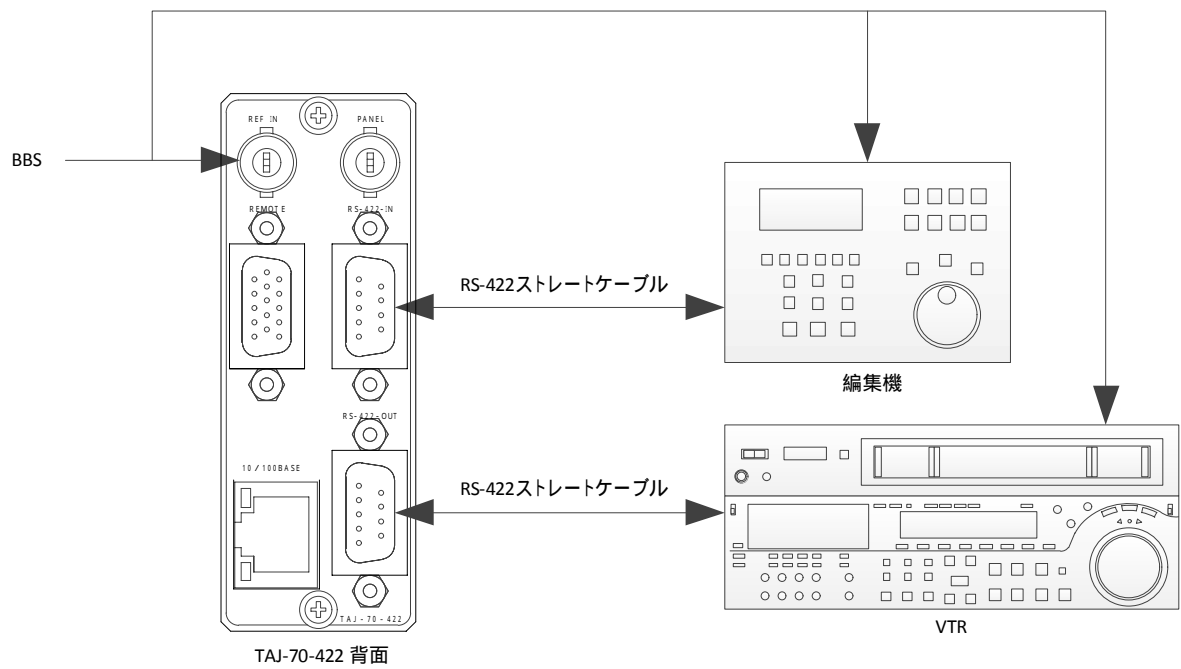


図2-2 機能チェック接続図

- (1) 予め、編集機とVTRを直接RS-422ストレートケーブルで接続し、操作可能であることを確認してください。
- (2) 上図に従い、RS-422ストレートケーブルで、編集機、VTRを接続してください。
- (3) TAJ-70-422、編集機、VTRにリファレンス信号(BBS)を入力してください。
- (4) 編集機からVTRが操作できることを確認してください。



## 5. 機能

ブラウザーから RS-422 VTR 制御におけるスタートコマンドの遅延量を 0～60 フレームの範囲で設定でき、4 パターンまでプリセットできます。4 つのプリセットパターンは、接点、リモートパネル(RS-70-01)、ブラウザー、または Vbus 筐体の LAN 端子から SNMP 上のコマンドで制御することができます。

ブラウザー機能は Vbus 筐体の LAN 端子ではなく、TAJ-70-422 背面の LAN 端子を使用します。

### (1) スタートコマンドの遅延

スタートコマンドを 0～60 フレームまで遅延することができます。

遅延設定は、4 パターン登録できます。

### (2) 外部接点制御

4 接点で 4 つのプリセットパターンを選択します。

### (3) 外部タリ-

プリセットパターン選択のタリ-を出力します。

### (4) パネル制御

プリセットパターンの選択を手動で行います。

### (5) SNMP 制御

・コンディションの状態を SNMP モジュールへ返します。

・実装する筐体背面の LAN ポートを使用して SNMP によるプリセットパターンの切り替えができます。

### (6) プリセットパターン表示

本体正面に現在のプリセット番号 1～4 を表示します。スルー設定時は 0 が表示されます。

### (7) ブラウザー機能

・遅延時間のプリセット                      スタートコマンドの遅延時間を 4 つプリセットできます。

プリセット切り替えの制御も可能です。

・ネットワーク IP 設定                      ネットワーク IP、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定をします。

・内部時計設定                                TAJ-70-422 の時刻設定をします。内部時計は動作ログの記録で使用します。

・バージョン表示                              ソフトとハードのバージョン情報を表示します。

注: Internet Explorer 8 を使用している場合、一部表示が正しくない場合があります。

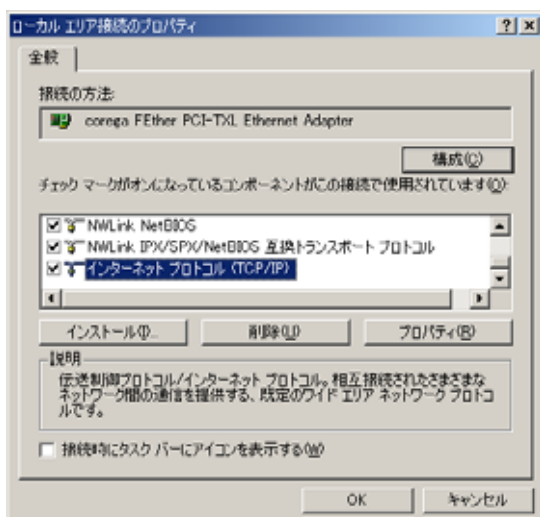
ブラウザーのツールタブから互換表示を選択してください。

## 6. パソコンのネットワーク設定

Windowsパソコンのネットワーク設定を行います。TAJ-70-422の遅延量をプリセットする為に必要です。

【Windows2000の設定方法】

- (1) コントロールパネル内の「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開きます。
- (2) 「ローカルエリア接続」を右クリックしてプロパティを開きます。
- (3) 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



- (4) IPアドレスの設定を行います。「IPアドレスを自動的に取得する」がチェックしてある場合は「次のIPアドレスを使う」をチェックしてIPアドレス、サブネットマスクを設定します。

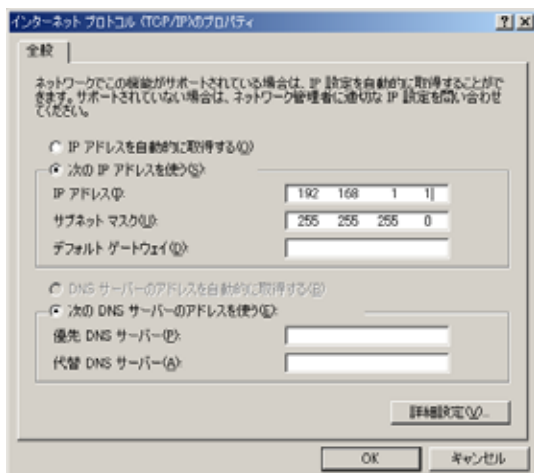
TAJ-70-422の制御のみで使用するパソコンの場合はデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は必要ありません。

[IPアドレス]には「192.168.1.1～192.168.1.254」の間のIPアドレスを設定します。

TAJ-70-422のIPアドレスの初期値は192.168.1.1です。

TAJ-70-422が初期値の場合、パソコンのIPアドレスは192.168.1.1に設定しないでください。

(注: 他のパソコン等とIPアドレスが重複しないように注意して入力して下さい。)

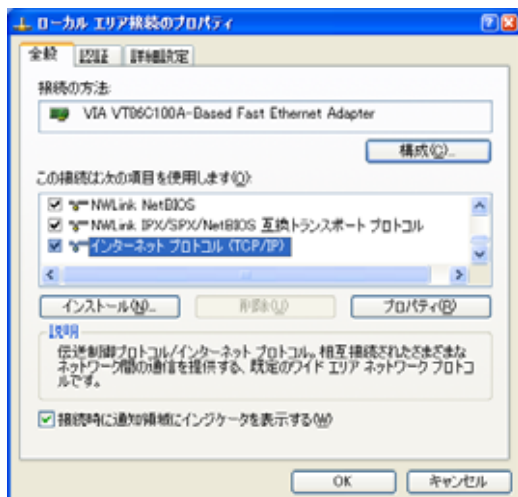


設定が終わったら「OK」をクリックしてダイアログを終了します。

接続ができない時や不明な点がある時には、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

## 【WindowsXPの設定方法】

- (1) コントロールパネル内の「ネットワークとインターネット接続」を開きます。
- (2) ネットワーク接続を開きます。
- (3) 「ローカルエリア接続」を右クリックしてプロパティを開きます。
- (4) 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



- (5) IPアドレスの設定を行います。

「IPアドレスを自動的に取得する」がチェックしてある場合は「次のIPアドレスを使う」をチェックしてIPアドレス、サブネットマスクを設定します。

TAJ-70-422の制御のみで使用するパソコンの場合はデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は必要ありません。

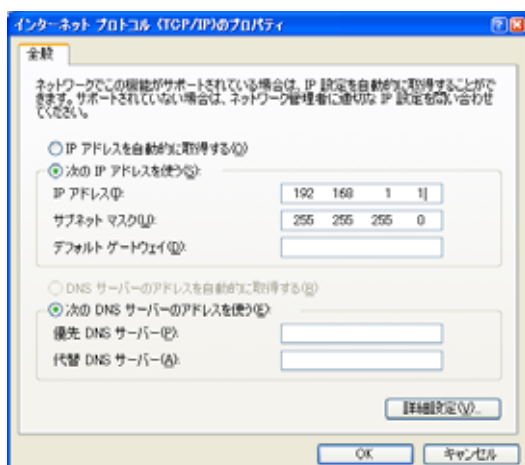
[IPアドレス]には「192.168.1.1～192.168.1.254」の間のIPアドレスを設定します。

(注:他のパソコン等と重複しないように注意して入力して下さい。)

TAJ-70-422のIPアドレスの工場出荷時設定値、また初期値は192.168.1.1です。

TAJ-70-422が初期値の場合、パソコンのIPアドレスは192.168.1.1に設定しないでください。

(注:他のパソコン等とIPアドレスが重複しないように注意して入力して下さい。)



設定が終わったら「OK」をクリックしてダイアログを終了します。

接続ができない時や不明な点がある時には、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

【Windows7の設定方法です】

- (1) コントロールパネル内の「ネットワークとインターネット」の項目にある「ネットワークの状態とタスクの表示」を開きます。

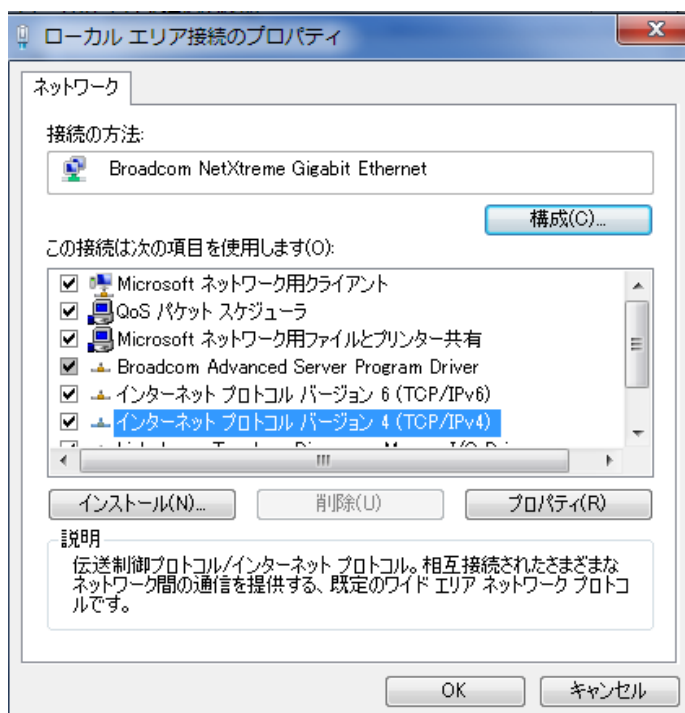


- (2) 「アクティブなネットワークの表示」の項目にあるローカルエリア接続を開きます。



- (3) プロパティを開きます。

- (4) 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



- (5) IPアドレスの設定を行います。

「IPアドレスを自動的に取得する」をチェックしている場合、「次のIPアドレスを使う」をチェックしてIPアドレス、サブネットマスクを設定します。

TAJ-70-422の制御のみで使用するパソコンの場合はデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は必要ありません。

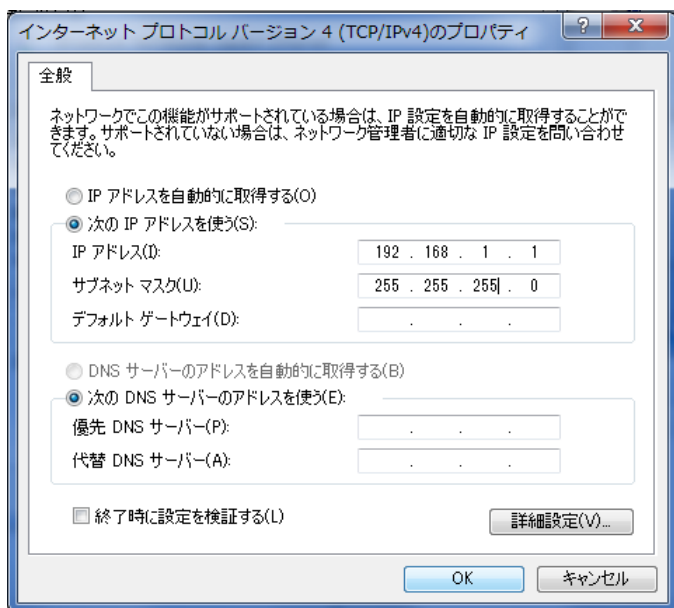
[IPアドレス]には「192.168.1.1～192.168.1.254」の間のIPアドレスを設定します。

(注:他のパソコン等と重複しないように注意して入力して下さい。)

TAJ-70-422のIPアドレスの工場出荷時設定値、また初期値は192.168.1.1です。

TAJ-70-422が初期値の場合、パソコンのIPアドレスは192.168.1.1に設定しないでください。

(注:他のパソコン等とIPアドレスが重複しないように注意して入力して下さい。)



設定が終わったら「OK」をクリックしてダイアログを終了します。

接続ができない時や不明な点がある時には、パソコンの取扱説明書を参照するか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

### 3. 各部の名称と働き

#### 1. メインモジュール正面 / コネクタモジュール

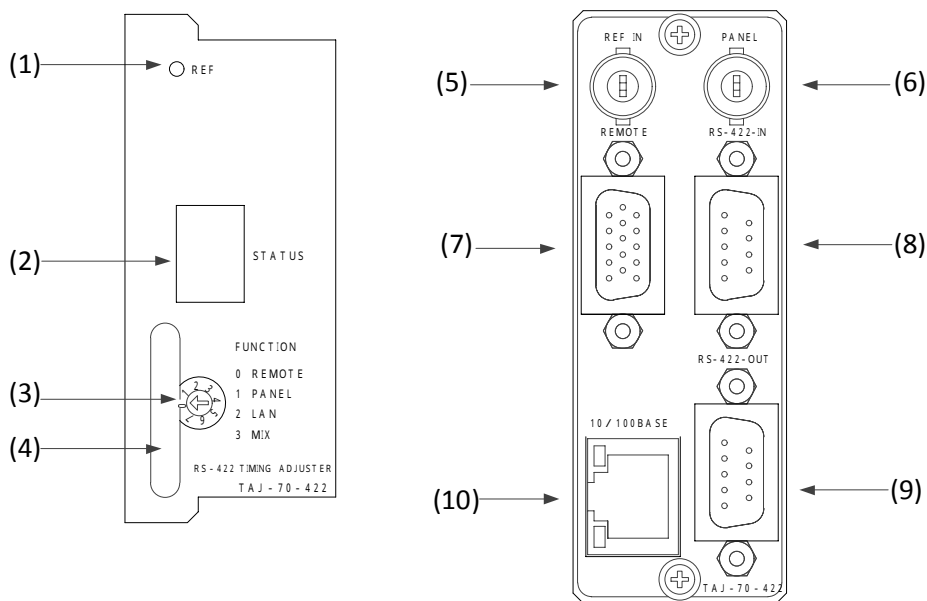


図3-1 各部の名称と働き

##### (1) REFランプ

BBSが入力されていると緑色に点灯します。正確なタイミング制御を行うため、必ずREF信号を入力してください。

##### (2) STATUS(7seg)

現在のプリセットパターンを表示します。スルー(遅延なし)設定時は、「0」と表示されます。

##### (3) FUNCTION

プリセットパターンを選択する手段を設定します。

- |    |        |                              |
|----|--------|------------------------------|
| 0: | REMOTE | 外部制御SWのみ有効です。                |
| 1: | PANEL  | 操作パネルのみ有効です。                 |
| 2: | LAN    | TAJ-70-422または筐体背面のLANのみ有効です。 |
| 3: | MIX    | REMOTE、PANEL、LANの制御が有効です。    |

##### (4) 取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

##### (5) REF IN

BBSの入力端子です。正確なタイミング制御を行うため、必ずBBSを入力してください。

また、デフォルト設定でVbus筐体にリファレンス信号を分配する設定になっています。**同一筐体内にリファレンス信号を分配するモジュールが他にある場合、筐体内でリファレンス信号が衝突し、他のモジュールが誤動作を招く恐れがあります。**このような場合、どちらかのリファレンス分配機能をOFFにしてください。TAJ-70-422のリファレンス分配機能をOFFにする場合は、基板上のディップスイッチSW3の6番をONにしてください。詳細は「6.工場出荷設定(ディップスイッチの操作)」の項を参照してください。

##### (6) PANEL

操作PANELの入力端子です。RS-70-01、またはVDA-70P等を接続します。詳しくは「4.3.複数機器連動制御」の項を参照してください。

(7)REMOTE

外部からの接点制御の接続に使用します。オプションの接点制御パネル、PRC-0401を接続することもできます。

(8) RS-422-IN

コントローラーとの接続に使用します。RS-422ストレートケーブルを使用してください。

(9)RS-422-OUT

VTRの接続に使用します。RS-422ストレートケーブルを使用してください。

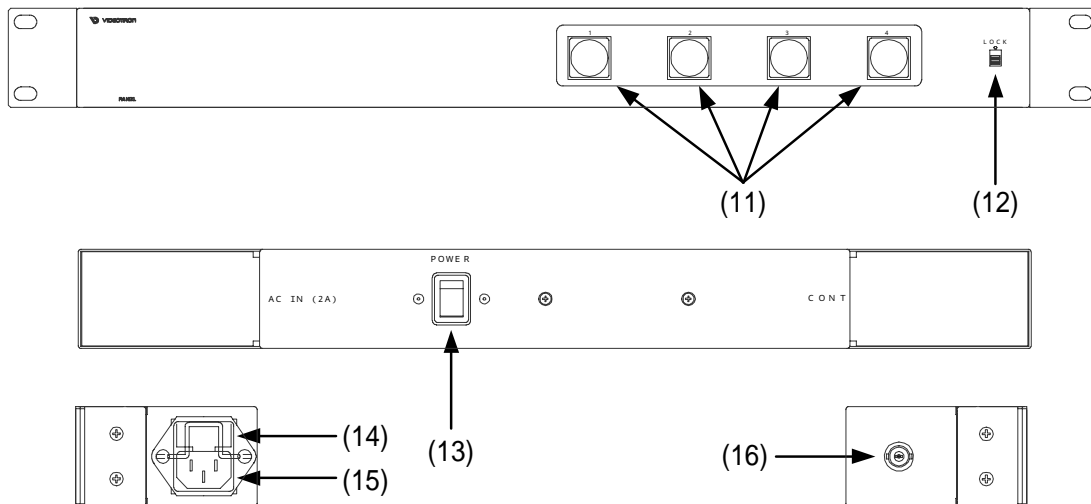
(10)LAN

ブラウザから各種の設定に使用します。

詳しくは「2.6.パソコンのネットワーク設定」の項、及び「5.ブラウザ操作」の項を参照してください。

## 2. 操作パネル(オプション)

RS-70-01



(11)プリセット選択ランプ

1～4のプリセットパターンを選択します。

選択されているボタンが橙色で点灯します。

(12) PANEL LOCK スイッチ

スイッチを上方向にスライドさせると、操作パネルのコントロールができなくなります。

(13) 電源スイッチ

操作パネルの電源スイッチです。

(14) ヒューズボックス

2Aのヒューズボックスです。ヒューズ交換の際はドライバーで蓋の両端をこじ開けます。

(15) 電源コネクター

電源コードを接続し、AC電源を供給します。

(16) PANELコネクター

TAJ-70-422と操作パネルを接続するインターフェースです。付属の同軸ケーブルで接続します。

## 4. 基本操作

### 1. 遅延時間の設定

遅延時間の設定は、TAJ-70-422背面のLANを介してWindowsパソコンで行います。設定したデータはフラッシュメモリに保持されますので、電源をOFFしても再設定の必要はありません。

遅延時間の設定については、「2.6.パソコンのネットワーク設定」の項、及び「5.ブラウザ操作」の項を参照してください。

### 2. プリセットの切り替え

プリセットの切り替えは、下記の3通りの方法があります。

・REMOTE端子による接点切り替え。

本体正面のFUNCTIONスイッチを0、または3にしてください。

REMOTE端子に弊社の接点制御パネルPRC-0401を接続して制御することもできます。

・リモコンパネルRS-70-01による切り替え。

通信ケーブルはBNCケーブルを使用し、PANEL端子を使用します。

本体正面のFUNCTIONスイッチを1、または3にしてください。

次項でご説明しますが、PANEL端子を使用した複数機器連動制御方法もあります。

・LANによる切り替え。

TAJ-70-422背面のLANコネクタを使用し、ブラウザで制御。またはVbus筐体背面のLANコネクタを使用してSNMPプロトコルによる制御。

本体正面のFUNCTIONスイッチを2、または3にしてください。

### 3. 複数機器連動制御

一台の操作パネルでTAJ-70-422とSW-70-422を同時に切り替えたい時や、一つの接点で複数のTAJ-70-422、あるいはSW-70-422、RS-70HD/SDの切り替えを連動させたい時の手法を下記に説明します。

(1)2台の装置を接点、あるいはネットワーク制御で連動切り替えさせる。

TAJ-70-422正面のFUNCTIONスイッチを3に設定し、PANEL端子でRS-70HD/SD、SW-70-422を直接接続すると、TAJ-70-422のプリセット番号に連動して切り替わります。TAJ-70-422のプリセット切り替えは、接点、またはLANで行います。下図参照。

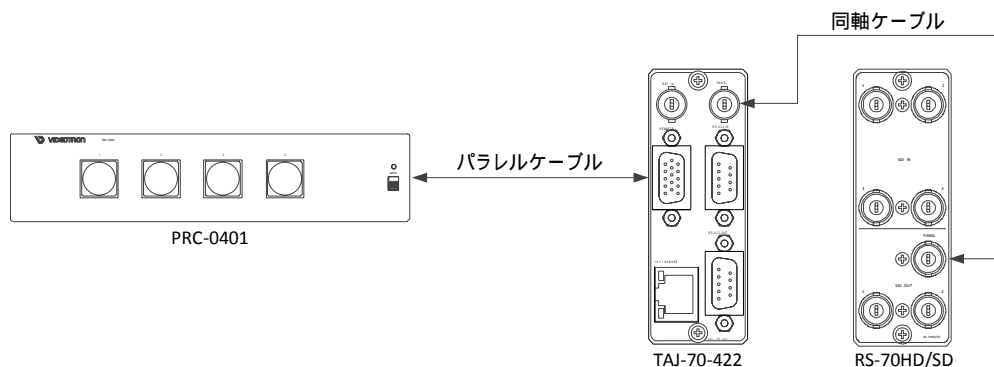


図4-1 TAJ-70-422とRS-70HD/SDの連動制御例



(2) 2台以上の機器をRS-70-01で連動制御する。

TAJ-70-422とRS-70-01を接続する同軸ケーブルの間にVDA-70Pを挟みます。図4-2参照。

VDA-70Pの入力に接続できる機種は、RS-70-01、TAJ-70-422、TAJ-70-GPI、SW-70-422、RS-70HD/SDです。

VDA-70Pの入力の一方にはRS-70-01を必ず接続してください。RS-70-01を使用しない場合は75Ω終端器を接続しないでください。それ以外の接続を行った場合は正常に制御できません。

VDA-70Pの入力に接続した機器は、マスター制御となり、VDA-70PのOUTPUTに接続した機器を連動制御することができます。下図の接続を行った場合TAJ-70-422がマスター制御となり、SW-70-422を連動制御しています。

TAJ-70-422正面のFUNCTIONスイッチを3に設定すれば、TAJ-70-422に対して接点、あるいはLANで制御した場合もSW-70-422を制御することができます。図4-3参照。

VDA-70PのOUTPUTに接続された機器は、サブ制御となります。サブ制御の機器に対して接点、あるいはLANの制御を行わないでください。万が一制御した場合、マスター制御の機器と、サブ制御の機器でチャンネルの不一致が発生する場合があります。

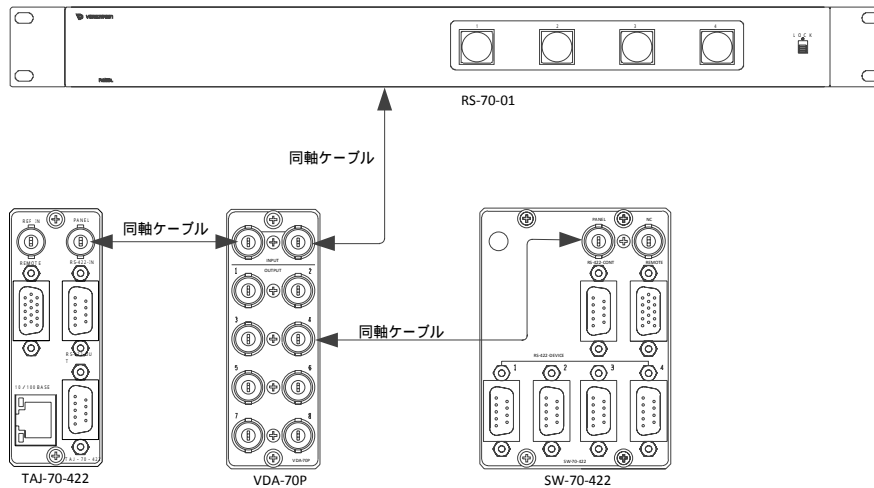


図4-2 2台以上の機器をRS-70-01で連動制御

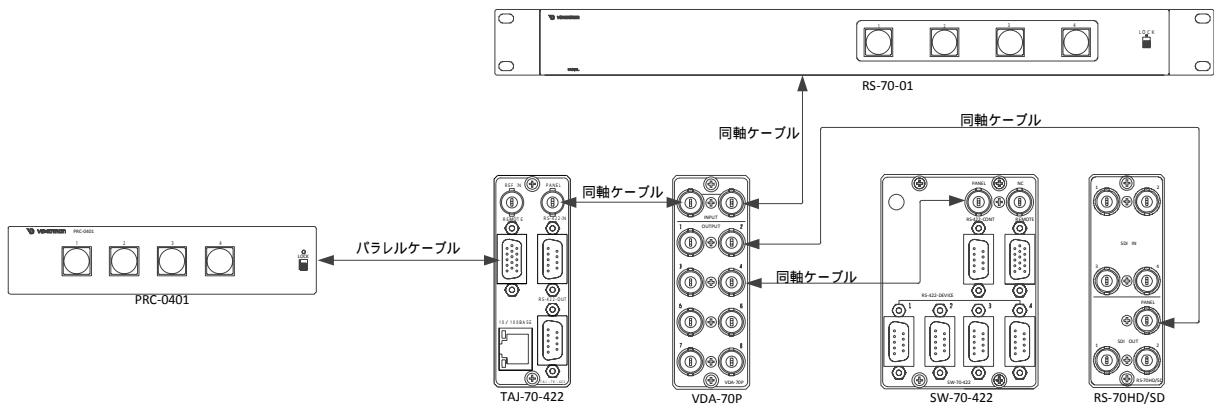


図4-3 3台以上の機器をRS-70-01で連動制御

## 5. ブラウザー操作

### 1. 各種設定メニューの起動

ブラウザのアドレス入力欄にTAJ-70-422のIPアドレスに続けて“/index.htm”を入力し、ENTERキーを入力します。

例) <http://192.168.1.1/index.htm> (工場出荷時の設定値) …以下の画面が表示されます。

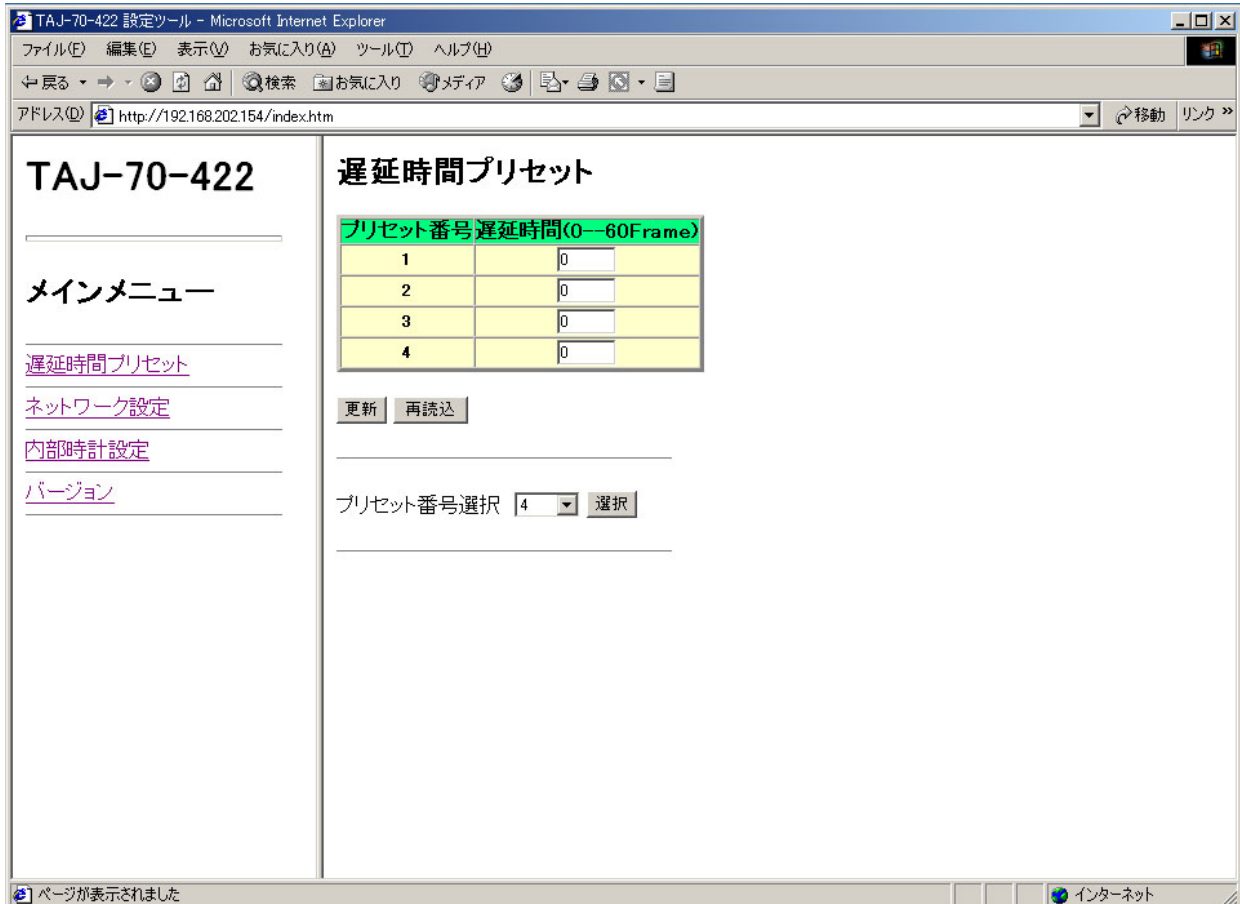


図5-1 起動画面

左欄のメインメニューの項目をクリックすると、右欄にその内容、及び設定項目が表示されます。

## 2. 遅延時間プリセット

遅延時間のプリセットとプリセット番号の選択を行います。スタートコマンドのみ指定フレーム遅延させます。

スタートコマンド以外のコマンドも内容を解析する為に、約1mSの伝達遅延が発生します。

遅延時間は4チャンネルまでプリセットできます。ブラウザ上からプリセット番号を選択して切り替えることもできます。

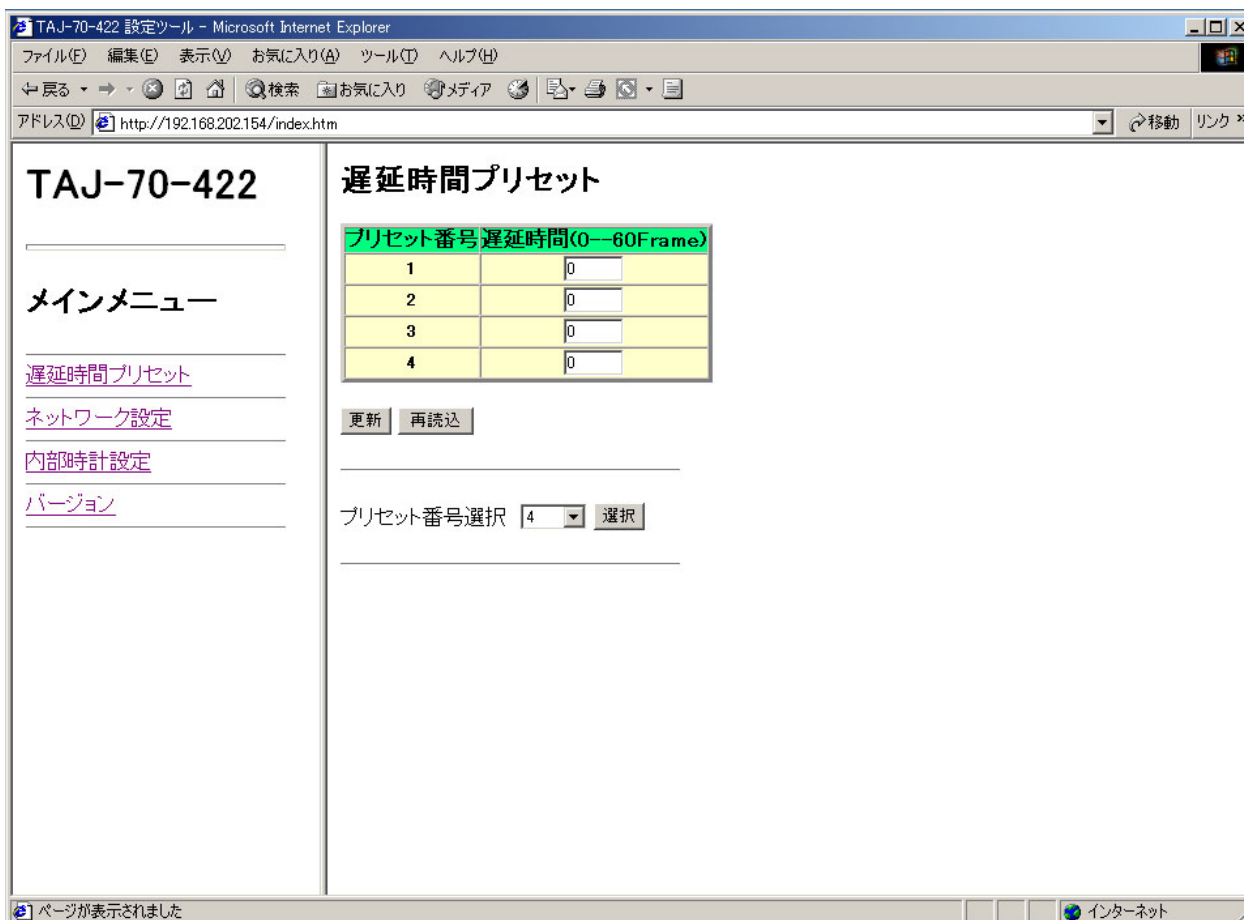


図5-2 遅延時間プリセット画面

### 遅延時間のプリセット

変更したいプリセット番号の遅延期間欄の入力部に0～60までの数値を入れます。

「更新」を押すと設定されます。

確認したい場合、「再読込」を押します。

### プリセット番号の選択

選択する番号を選択肢プルダウンメニューから選択し、「選択」を押します。

選択肢は、1～4のプリセット番号とスルーがあります。スルーを選択すると遅延なしになります。

TAJ-70-422の正面パネルに設定されているプリセット番号が表示されます。

プリセット番号表示が0の時は、スルーを意味します。

### 3. ネットワーク設定

ネットワークに関する設定を行います。

左側のメニューの「ネットワーク設定」をクリックすると以下の画面が表示されます。

「更新」：表示されているアドレスを設定します。設定後画面が更新されます。

「初期化」：以下の工場出荷時設定値に変更されます。

工場出荷時設定値

IPアドレス : 192.168.1.1

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

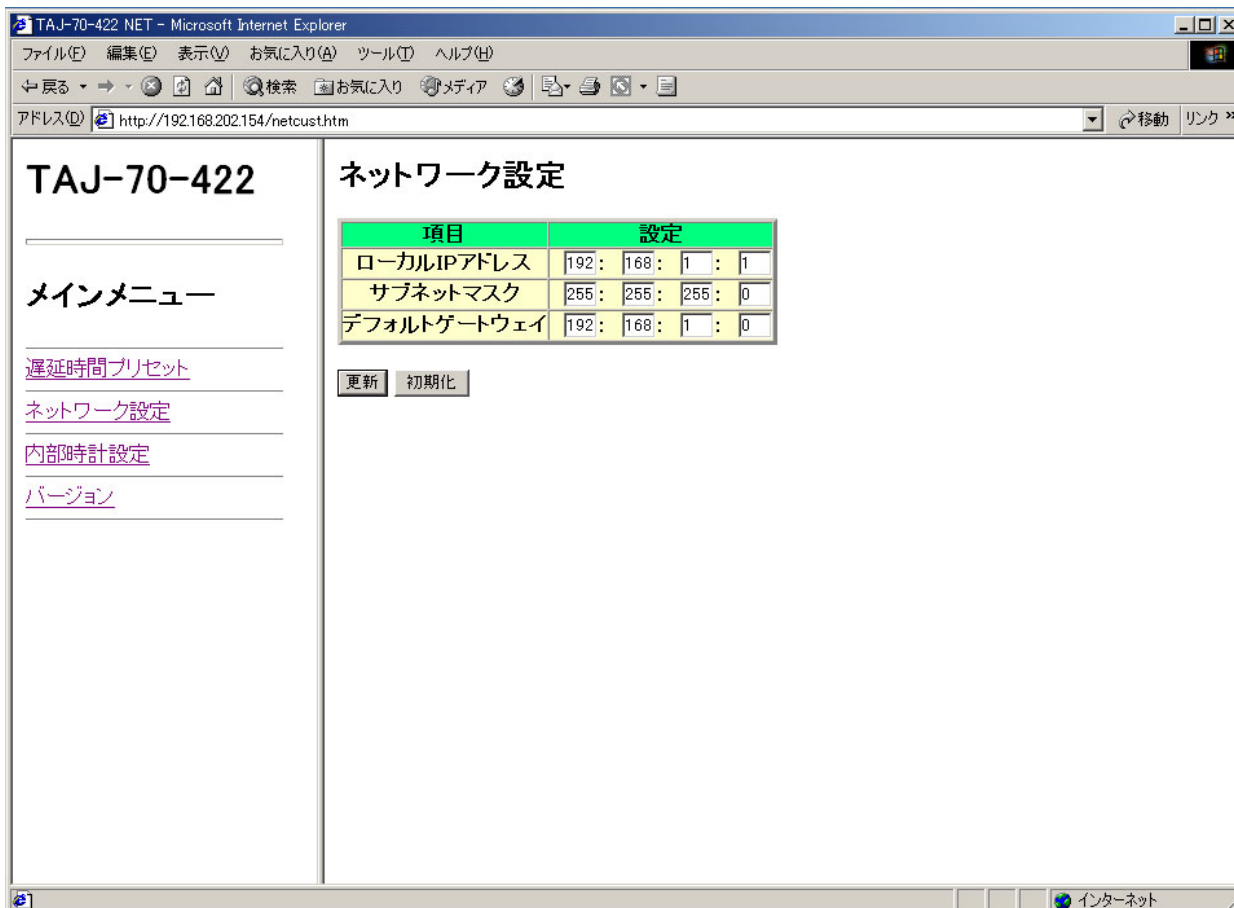


図5-3 ネットワーク設定画面

#### (1) IPアドレス

ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスを入力します。

#### (2) サブネットマスク

ネットワーク管理者から割り当てられたサブネット マスクを入力します。

#### (3) デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

ネットワークアドレスの設定が分からなくなってしまった場合は、「5.工場出荷設定」の項目を参照し、ネットワークアドレスを工場出荷時の設定に戻すことができます。

#### 4. 内部時計設定

内部時計に関する設定を行います。内部時計は、メンテナンス用のログの記録で使用します。電源をOFFにしても1週間程度は時計設定を保持しています。長期間電源を入れなかった場合、内部時計の設定を行ってください。

左側のメニューの「内部時計設定」をクリックすると以下の画面が表示されます。

「更新」：表示されている時刻が設定されます。

「再読込」：TAJ-70-422に設定されている現在時刻を画面に表示します。



図5-4 内部時計設定画面

各項目について

(1)年

西暦を入力します。

(2)月

月を入力します。

(3)日

日にちを入力します。

(4)時

時間を入力します。

(5)分

分を入力します。

(6)秒

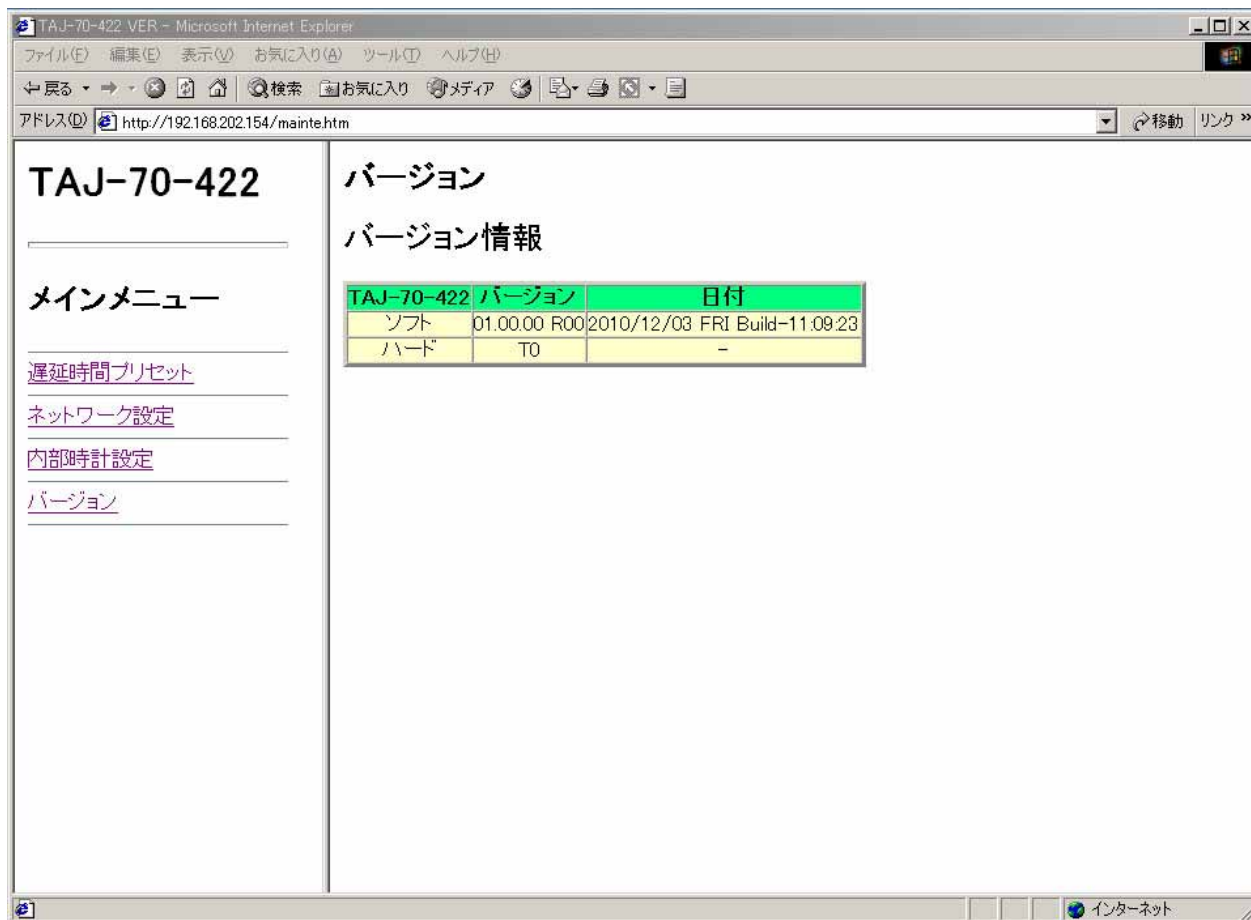
秒を入力します。

曜日は年月日から自動的に計算されます。

## 5. バージョン情報

TAJ-70-422のバージョン情報の確認を行います。

左側のメニューの「バージョン」をクリックすると以下の画面が表示されます。



The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer window displaying the version information page for TAJ-70-422. The address bar shows the URL <http://192.168.202.154/mainte.htm>. The page layout includes a left sidebar with a main menu and a main content area.

**TAJ-70-422**

メインメニュー

- [遅延時間プリセット](#)
- [ネットワーク設定](#)
- [内部時計設定](#)
- [バージョン](#)

**バージョン**

バージョン情報

TAJ-70-422	バージョン	日付
ソフト	01.00.00 R00	2010/12/03 FRI Build-11.09.23
ハード	T0	-

図5-5 バージョン情報画面

「ソフト」はTAJ-70-422ファームウェアのバージョン、「日付」はリリース年月日を表します。

「ハード」はLCAのバージョン、「日付」は表示しません。

## 6. 工場出荷設定 (ディップスイッチの操作)

ディップスイッチの設定を行うことでフラッシュの初期化や動作の変更を行うことができます。

ネットワークのアドレスの設定を忘れてしまった場合は、工場出荷時の設定に戻すことで対処できます。

ディップスイッチはSW3という名称でモジュールの左下にあります。

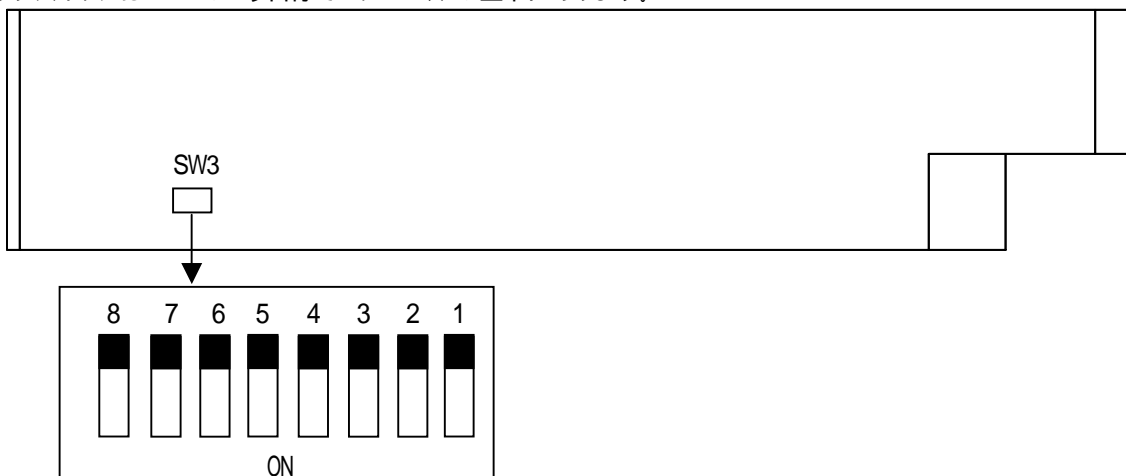


図6-1 ディップスイッチ配置図

未使用、または機能を使用しないディップスイッチは全てOFFにしてください。工場出荷時はすべてOFFです。

番号 : 状態 = 設定内容

1~4 : 未使用

5 : ON = LOGデータのクリア

6 : ON = REF信号の分配機能を無効にする。

7 : ON = フラッシュディスク、RAMディスクのフォーマット、

8 : ON = 工場出荷時の値にします。

・ディップスイッチの5番がONの状態では起動すると、LOGデータをクリアします。

終了すると、TAJ-70-422正面パネルの7セグメントLED「.」が点滅します。

・ディップスイッチの7番がONの状態では起動すると、フォーマットを開始します。

初期化が完了するまで約3分かかります。

初期化完了後、TAJ-70-422正面パネルの7セグメントLED「.」が点滅します。

・ディップスイッチの8番がONの状態では起動すると、初期化を開始します。

IPアドレス 192.168.1.1

デフォルトゲートウェイ 192.168.1.0

サブネットマスク 255.255.255.0

遅延時間プリセットデータは0、プリセット番号は1になります。

**注意！** ディップスイッチの5、7、8番は、設定終了後、電源を落として必ずOFFに戻してください。

ONにしたままですと、電源投入時、常に設定がクリアされます。

## 7. 外部インターフェース

### 1. REMOTE

プリセットの切り替えで使します。

ピン番号	信号	機能
1	PIN0	プリセットパターン 1~4 **1、**2
2	PIN1	
3	PIN2	
4	PIN3	
5	PIN4	プリセット解除(スルー)**4
6	GND	
7	GND	
8	POUT0	プリセットタリ --- **3
9	POUT1	
10	POUT2	
11	POUT3	
12	POUT4	プリセット解除(スルー)
13	COM	接点信号出力用コモン端子
14	COM	接点信号出力用コモン端子
15	NC	

表7-1 REMOTEピンアサイン表

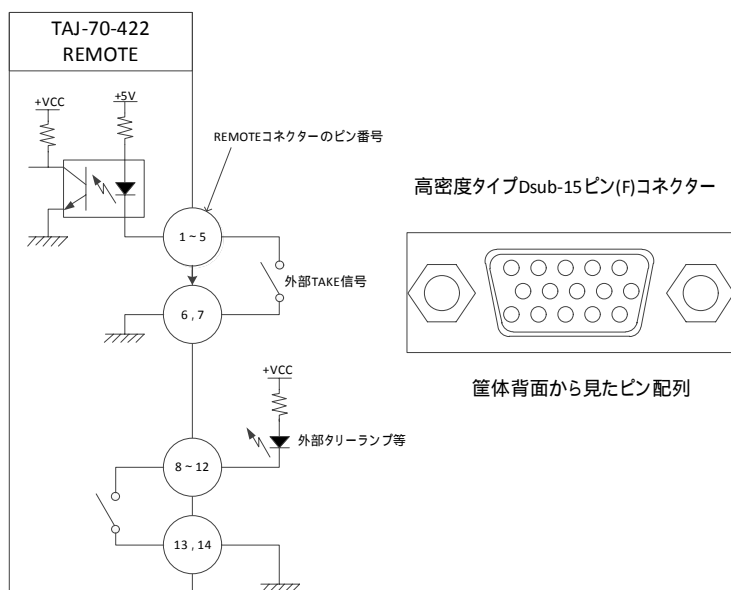


図7-1 REMOTEピン配列 / REMOTEコネクタ図

\*\*1 トリガー制御です。100ms以上のパルスで制御してください。

\*\*2 接点信号入力をロジックで制御する場合、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

\*\*3 接点信号出力の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

\*\*4 コマンドをメモリに格納してから送出する為、1ms以内のディレイが生じます。



## 2. RS-422 IN

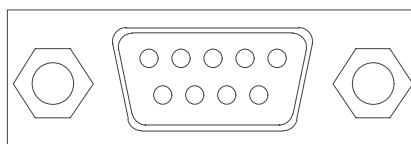
通信速度 38400bps

ビット構成 スタート:1ビット データ:8ビット パリティ:ODD ストップ:1ビット

ピン番号	信号名	入出力
1	GND	-
2	TXD-	出力
3	RXD+	入力
4	GND	-
5	NC	-
6	GND	-
7	TXD+	出力
8	RXD-	入力
9	GND	-

表7-2 RS-422IN ピンアサイン表

Dsub-9ピン(F)コネクタ



筐体背面から見たピン配列

図7-2 RS-422IN コネクタ図

## 3. RS-422 OUT

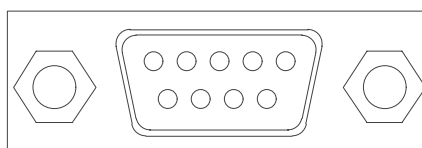
通信速度 38400bps

ビット構成 スタート:1ビット データ:8ビット パリティ:ODD ストップ:1ビット

ピン番号	信号名	入出力
1	GND	-
2	RXD-	入力
3	TXD+	出力
4	GND	-
5	NC	-
6	GND	-
7	RXD+	入力
8	TXD-	出力
9	GND	-

表7-3 RS-422OUT ピンアサイン表

Dsub-9ピン(F)コネクタ



筐体背面から見たピン配列

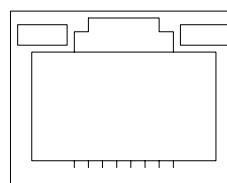
図7-3 RS-422OUT コネクタ図

## 4. 10/100BASE

ブラウザ設定で使用するLAN端子です。

ピン番号	信号	入出力
1	TX+	出力
2	TX-	出力
3	RX+	入力
4	N.C	-
5	N.C	-
6	RX-	入力
7	N.C	-
8	N.C	-

表7-4 10/100BASE ピンアサイン表



8 1

図7-4 10/100BASEコネクタ図

## 8. SNMP

Vbus 筐体に SNMP モジュールが搭載されている時、SNMP に対応します。

TAJ-70-422 の MIB データは以下の表に対応します。

[1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1]左記OIDに項番が続き最後にindexとなります。indexはスロットナンバー1～10となります。

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	更新
1	pid {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.1.index}	R/O	80	プログラム情報	char PID[5][16]の内容 製品コード TAJ-70-422 会社名 VIDEOTRON Corp バージョン 01.00.00 R00 製造日 2010/12/08 WED 時 Build-13:29:49	SNMP_LTYP_STRING	
3	kcode {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.3.index}	R/O	4	機種コード=164	164	SNMP_LTYP_INTEGER	
5	slotIp {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.5.index}	R/O	4	IP アドレス	192.168.1.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	
6	mac {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.6.index}	R/O	6	MAC アドレス	00-0E-88-XX-XX-XX	SNMP_LTYP_PSADDRESS	
7	slotIpGate {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.7.index}	R/O	4	IP アドレスゲートウェイ	192.168.1.0	SNMP_LTYP_IPADDRESS	
8	slotIpMask {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.8.index}	R/O	4	IP アドレスサブネットマスク	255.255.255.0	SNMP_LTYP_IPADDRESS	
12	refInput {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.12.index}	R/O	4	REF 入力 0=no input 1=input	REF 入力あり 1	SNMP_LTYP_INTEGER	
40	hard {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.40.index}	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit0～15:英数字2文字	英数字2文字 " T0 " 21552(0x5430)	SNMP_LTYP_INTEGER	
50	DipSw {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.50.index}	R/O	4	DipSw bit4: LOG クリア bit5: REF 信号分配無効 bit6: FLASH FORMAT bit7: 初期化(出荷時設定)	初期化 128	SNMP_LTYP_INTEGER	
51	CodeSw {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.51.index}	R/O	4	CodeSw 0=REM 1=PANEL 2=LAN 3=MIX	PANEL 1	SNMP_LTYP_INTEGER	
52	Current PresetNo {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.52.index}	R/W	4	現在のプリセット番号 0～3:プリセット番号1～4 4:スルー(ディレイ値=0)	プリセット番号2 1	SNMP_LTYP_INTEGER	
53	delay {1.3.6.1.4.1.20120.20.1.164.1.1.53.index}	R/O	4	現在のディレイ値 0～60frame	30frame 30	SNMP_LTYP_INTEGER	

## 9.トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の は対処方法を示しています)

現象 電源が入らない！

原因 ・筐体正面の電源スイッチはON側になっていますか？

・筐体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

・筐体のヒューズは切れていませんか？

もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

現象 まったく動作しない！

原因 ・メインモジュール(基板)は奥まで正しく挿入されていますか？

前面のふたを外し、奥まで確実に刺さっているかご確認ください。

現象 制御が効かない！

原因 ・メインモジュール前面のFUNCTIONスイッチの設定は正しいですか？

スイッチが“3”以外の場合は“3”にして再度制御が効くか確認してください。

・パネルのLOCKは無効になっていますか？

パネルロックを解除して再度ご確認ください。

現象 コントローラー(編集機等)からVTRの制御ができない！

原因 ・RS-422のケーブルはストレートケーブルで接続されていますか？

クロスケーブルであった場合はストレートケーブルで接続してください。

また、複数のVTRではなく複数のコントローラー(編集機等)からの制御を切り替えて

1台のVTRを接続するような場合は、クロスケーブルでの接続が必要となります。

・コントローラー(編集機等)とVTRを直接RS-422ケーブルで接続して制御できますか？

ご使用のケーブル、またはコントローラー(編集機等)、VTRの設定に問題があります。ご確認ください。

現象 パソコンでコントロールできない。

原因 ・LANケーブルは接続されていますか？

PCと直接接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

・IPアドレスの設定はあっていますか？

PCとTAJ-70-422のIPアドレスの設定を確認してください。

「2.6.パソコンのネットワーク設定」の項、及び「5.ブラウザ操作」の項を参照してください。

TAJ-70-422のIPアドレスを変更した場合、電源を再起動してください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

## 10.仕様

### 1.定格

(1)TAJ-70-422

入力信号

REF IN            BBS、0.43Vp-p/75、BNC 1系統

外部I/F

RS-422-IN        Dsub-9(f)インチネジ 1系統      RS-422 コントローラー側

RS-422-OUT      Dsub-9(f)インチネジ 1系統      RS-422 制御デバイス側

REMOTE          Dsub-15(f)高密度タイプ、インチネジ 1系統

接点入力×5、出力×5

LAN              10/100BASE RJ45 1系統

PANEL            2Vp-p/75、BNC 1系統

動作温度        0～40

動作湿度        20～80%RH (ただし結露なき事)

消費電力        8VA(5V、1.6A)

## 11. ブロック図

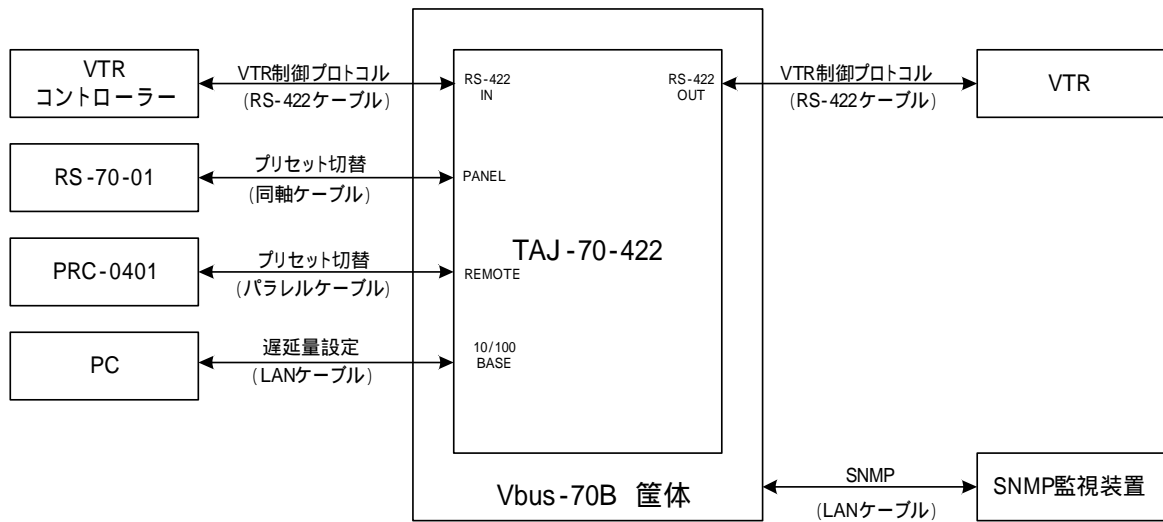
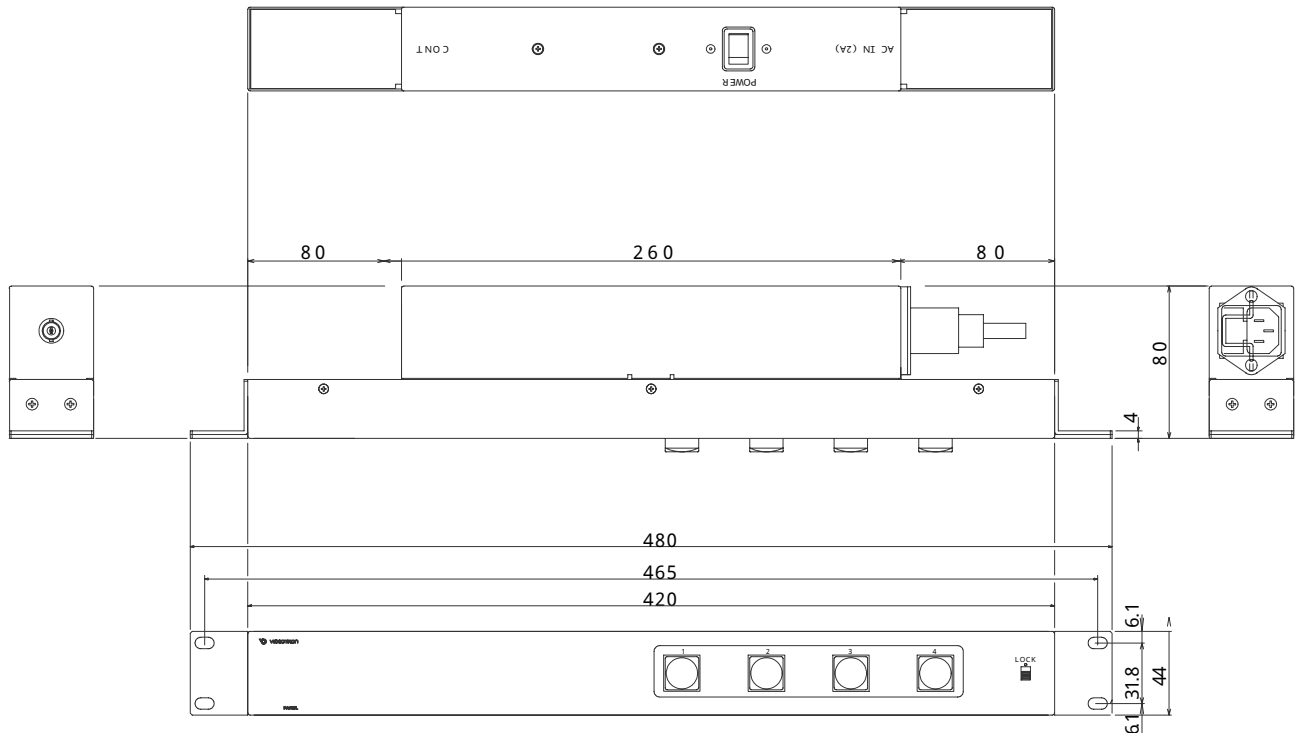


図 13-1 ブロック図

## 12. 操作パネル外形寸法図(オプション)

さ





御使用各位 殿

## ビデオトロン株式会社

製造技術部

### 緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。  
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ  
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

営業日の連絡先

**ビデオトロン株式会社**

製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30～17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00～17:00

携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

## 無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。